

# ひきこもる若者たちの姿と 支援の在り方を考える

現代は、誰もが社会に対し何らかの閉塞感や生きにくさを抱える時代になっているのではないのでしょうか。そんな誰もが生きにくい社会の中で、思春期・青年期の若者は、様々なことで悩み、時には混乱しながら自分の生き方、自立を模索しています。その時に、不登校、うつ、発達のアンバランスゆえの不応、自傷行為、非行、ひきこもり等、様々な表し方でSOSを発信する若者がいます。今回はひきこもる若者に焦点を当て、その理解と支援の在り方について考えます。

開催  
日時

平成27年3月9日(月)

13:30~16:00  
(受付・開場 13:00)

会場

浜松市地域情報センター1階 ホール 浜松市中区中央1丁目12-7  
駐車場はありません。公共の交通機関をご利用いただくか、車でお越しの場合は周辺の駐車場をご利用ください。

対象

ひきこもりに関心のある方、相談支援機関及び周辺の関係機関、  
ひきこもりの子をもつ親、教育に関わる関係者(教師、スクールカウンセラー、  
スクールソーシャルワーカー)など

参加費  
無料

## 「ひきこもる若者たちの姿と支援の在り方を考える」

講師 <sup>にしくま</sup> <sup>あき</sup> 西隈 亜紀 氏 (NPO法人東京フレンズ理事長:精神保健福祉士)

関西学院大学文学部卒業、日本社会事業大学大学院社会福祉学専攻科博士前期課程修了。毎日新聞社に入社し、いじめや不登校、障害児教育、虐待などの教育・福祉問題を追いかけるなか、精神保健福祉に関心を抱き、臨床家への転身を決意。退職して精神保健福祉士の資格を取得し、精神科ソーシャルワーカーとして医療法人社団新会多摩あおば病院に入職。2013年、12年勤めた病院を退職し、心のケアを必要とする若者のためのグループホーム「キキ」を設立、現在に至る。特定非営利活動法人東京フレンズ理事長、日本社会事業大学非常勤講師。精神保健福祉士、社会福祉士。

申込  
方法

(事務局) ひきこもりサポートセンターこだま  
電話、ファックスまたはメールにてお申し込みください。

- TEL 053-453-8744 (平日のみ 9:00~18:00)
- FAX 053-453-8745
- Email u-kodama@pearl.ocn.ne.jp

- ①氏名(ふりがな) ②電話番号 ③FAX番号 ④住所  
⑤PCメールアドレス をお知らせください。

※団体でお申し込みの場合は、代表者氏名、参加人数をお知らせください。

申込  
期間

2/12(木)  
~  
3/2(月)

定員

100名  
先着順

主催: 浜松市

問い合わせ・事務局: ひきこもりサポートセンターこだま

〒430-0929 浜松市中区中央1丁目13-3 ウィスティリア E-one 3F 浜松市若者コミュニティプラザ内  
TEL053-453-8744 FAX 053-453-8745 Email u-kodama@pearl.ocn.ne.jp http://www.npo-e-jan.com



出世大名  
家康くん

